

降今日に至る迄約 20 年間の内視鏡検査症例に就いて検討しようと思う。当教室では従来 Killian 氏術式を採っていたが、最近では気管支鏡検査には主として Jackson 氏術式に依っている。

症例は 269 例 (391 回) である。其の内 A) 食道鏡検査 102 例 (158 回), B) 結核を除く喉頭, 気管支鏡検査 63 例 (99 回), C) 肺結核患者の気管支鏡検査 104 例 (127 回) である。A) は大部分異物で 64 例 (68 回), 食道癌 11 例 (17 回), 食道狭窄 6 例 (49 回), 食道炎 6 例 (10 回), 病変を認めないもの 15 例 (18 回) B) は気道異物 9 例, 気道腫瘍 12 例 (41 回), 急性喉頭炎 (仮性クループを含む) 13 例, 喉頭, 気管ゴフテリー 10 例 (12 回), 肺壊疽 3 例 (10 回), その他 16 例である。C) 結核性気管支炎は, 小野氏分類に従えば I 型 31 例 (29.8%), II 型 17 例 (16.3%), III 型 18 例 (17.3%), IV 型 3 例 (2.9%), 混合型 11 例 (10.6%) で, 気管支拡張 1 例 (0.9%), 無所見 23 例 (22.1%) であつた。其の内気管支病変ある 12 例に st. my の気管内注入療法を試みて認むべき効果を挙げ得た。

19. クロロマイセチン耐性腸チフス菌について (第二報)

(細菌) 小林千鶴

クロロマイセチン耐性腸チフス菌に就いて第一報に引続き次の如き成績をえた。

1. 光電比色計 (東方電機 501 型) を用いて原株と耐性菌の発育曲線を比較してみると, 50r/cc クロロマイセチン耐性腸チフス菌の発育曲線は原株のそれに比して Lag phase が延長し, Stationary phase に於ける optical density は原株の約 65% であつた。
2. 耐性株はクロロマイセチン入培地では普通培地より発育が悪く依存菌になり難いと思われた。
3. 50r/cc クロロマイセチン耐性腸チフス菌の復帰は普通寒天斜面で継代した場合約 20 代ではじまり, 55代でも尙原株感性の 2 倍を有していた。単個集落に就いての復帰は集落の型には関係はないが同一復帰代数の集落間でも相当差が認められた。
4. 復帰株 35 代は鞭毛を再現し活潑なる運動を営み, 穿刺培養の結果原株と同様の強い濁濁を示し, 糖分解試験も原株と同様となつた。

20. ストレプトマイシン耐性腸チフス菌に就いて (第 1 報)

(細菌) 須子田キヨ

細菌が諸種の抗生物質の耐性を獲得し, 漸次その耐性を高めて行く事は周知の事実である。私はストレプトマイシン (以下 SM と略す) 耐性腸チフス菌について, 次の如き実験を行つた。即ち SM 耐性菌は形態学的に著しい変化を示し, 発育は不良で, 特に普通寒天培地に於いては 48 時間で小集落を形成し, 運動の減弱及び鞭毛の消失は特に穿刺培養に於いて著明に認められ, 糖の分解は数種の糖に僅かに遅延する事を認めたのみであつた。猶 SM 耐性菌のマウスに対する毒性は減弱していた。又 SM 加培地中に於いて腸チフス菌が SM 耐性を得て発育増菌する際に, SM を分解するのではないかとの考えのもとに, 培地中の SM の力価の変動を Cup 法によつて検定したが, 培地に於ける SM の分解は認められなかつた。

21. インフルエンザ菌に関する研究 (第 1 報) インフルエンザ菌に於ける抗生物質の試験管内作用

中西清子
(細菌)(演) 舟橋と志子
松居節子

私共は脳膜炎より分離したインフルエンザ菌 2 株に就いて諸種の抗生物質に対する試験管内作用を検し次の成績を得た。

即ち各種抗生物質の発育阻止は Terramycin 及び Chloromycetin に於いては 5r/cc, Aureomycin に於ては 10r/cc, streptomycin に於ては 50r/cc, Penicillin に於いては 0.2u/cc であつた。Isonicotinic acid Hydrazid に於いては 100r/cc で猶発育阻止を認める事が出来なかつた。

22. 中止

23. 限局照射と全面照射による EIRG 波形の相違

(生理)(演) 飯田浩子
原正

富田及び船石は網膜の全面照射により EIRG 中の大きな陰性電圧に先行して小さな陽性刺棘が存在する事, 又之が Strychnine によつて著明に増大する事を認め, 之が網膜干渉現象に基因するものではないかとの推論に到達している。

私共はこの推論の当否を検する意味で厳密な限局照